

○特定整備について

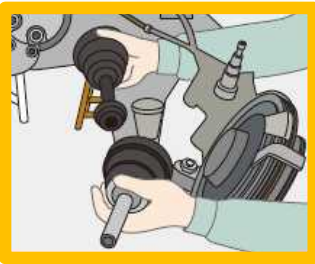
- 自動車特定整備事業は、『特定整備が他人の需要に応ずると自己の必要のためにすることを問わず、有償無償に係わらず、自動車の特定整備を継続的に、また、反復的に行うものをいう。』と定義づけられています。
- この『特定整備』とは、エンジンやブレーキなどを取り外して行う「分解整備」と、自動ブレーキなどに使用されるカメラやレーダーなどの調整や自動運行装置の整備を行う「電子制御装置整備」をいいます。

特定整備の代表例

1～6 分解整備

7 8 電子制御装置整備

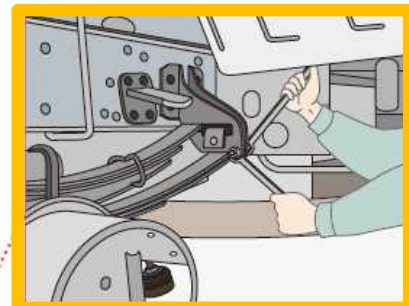
2 動力伝達装置
(ドライブシャフトなどの脱着)



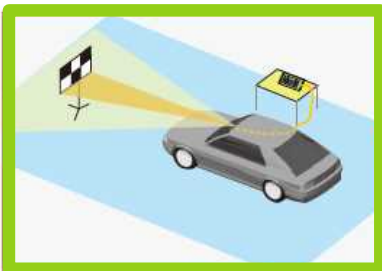
1 原動機 (エンジン脱着)



6 緩衝装置
(リーフスプリング脱着)



7 運行補助装置
(自動ブレーキ用カメラの調整など)



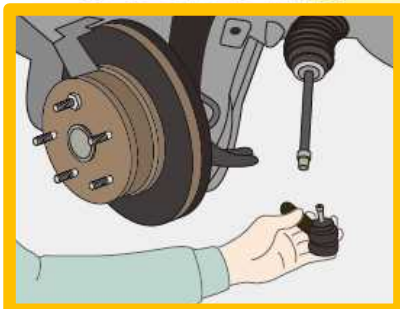
5 制動装置
(ブレーキパッドなどの交換)



3 走行装置 (ロアアーム脱着)



4 かじ取り装置
(タイロッドエンド脱着)



7 運行補助装置
(自動ブレーキ用のカメラなどが装着されている窓ガラス・バンパーなどの脱着)



8 自動運行装置
(レベル3以上の自動運転を行うための装置に係る整備・改造)